

## <庁舎等施設>

### 属 性

回答件数	56件
------	-----

Q. 性別		
男性	13	23.2%
女性	39	69.6%
その他	0	0.0%
回答しない	4	7.1%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 居住地区		
中央	15	26.8%
小田	7	12.5%
大庄	2	3.6%
立花	11	19.6%
武庫	4	7.1%
園田	11	19.6%
尼崎市外	6	10.7%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 年齢		
15歳未満	0	0.0%
15歳～19歳	0	0.0%
20歳代	1	1.8%
30歳代	11	19.6%
40歳代	13	23.2%
50歳代	12	21.4%
60歳代	8	14.3%
70歳代	8	14.3%
80歳以上	3	5.4%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	41
子ども(未就学児)	11
子ども(小学生)	4
子ども(中学生・高校生)	5
子ども(18歳以上(高校生は除く))	12
父母	4
祖父母	0
その他	1
同居者がいない(一人暮らし)	4
不明・無回答	0

Q. 利用施設名		
南部保健福祉センター	30	53.6%
北部保健福祉センター	26	46.4%

### 設 問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	14	25.0%
いいえ	42	75.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	12	21.4%
いいえ	44	78.6%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	16	20.0%
自転車	25	31.3%
車	12	15.0%
バイク	3	3.8%
バス	10	12.5%
電車	14	17.5%
その他	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	4	7.1%
週1～2回程度	1	1.8%
月1～2回程度	9	16.1%
年に数回程度	23	41.1%
年1回未満	11	19.6%
初めて利用する	8	14.3%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時～12時頃)	31	43.7%
平日午後(13時～17時頃)	35	49.3%
平日夜間(17時以降)	4	5.6%
休日午前(9時～12時頃)	1	1.4%
休日午後(13時～17時頃)	0	0.0%
休日夜間(17時以降)	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
乳幼児健診	7	10.0%
母子健康手帳交付	3	4.3%
各種窓口への相談	16	22.9%
各種窓口への申請	30	42.9%
その他	12	17.1%
不明・無回答	2	2.9%

Q. この施設の近隣(徒歩5分程度で移動できる範囲)にあればいいなと思う施設を教えてください。(3つまで回答可)		
サービスセンター(住民票等発行窓口)	20	15.4%
老人福祉施設(老人福祉センターなど)	2	1.5%
子育て支援施設(一時預かりや屋内遊戯施設含む)	8	6.2%
障害者支援施設	6	4.6%
公園	10	7.7%
図書館	18	13.8%
スポーツ施設(体育館など)	6	4.6%
商業施設(スーパーなど)	18	13.8%
飲食店・カフェ	23	17.7%
医療施設(病院・診療所など)	8	6.2%
その他行政窓口	8	6.2%
不明・無回答	3	2.3%

Q. この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数を減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	32	57.1%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	3	5.4%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	6	10.7%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	5	8.9%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	7	12.5%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	0	0.0%
不明・無回答	3	5.4%

<集会系施設>

属性

回答件数	809件
------	------

Q. 性別		
男性	209	25.8%
女性	562	69.5%
その他	14	1.7%
回答しない	14	1.7%
不明・無回答	10	1.2%

Q. 居住地区		
中央	61	7.5%
小田	86	10.6%
大庄	56	6.9%
立花	187	23.1%
武庫	101	12.5%
園田	159	19.7%
尼崎市外	117	14.5%
不明・無回答	42	5.2%

Q. 年齢		
15歳未満	2	0.2%
15歳～19歳	6	0.7%
20歳代	16	2.0%
30歳代	39	4.8%
40歳代	63	7.8%
50歳代	128	15.8%
60歳代	153	18.9%
70歳代	283	35.0%
80歳以上	110	13.6%
不明・無回答	9	1.1%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	519
子ども(未就学児)	44
子ども(小学生)	49
子ども(中学生・高校生)	49
子ども(18歳以上(高校生は除く))	187
父母	48
祖父母	4
その他	19
同居者がいない(一人暮らし)	164
不明・無回答	17

Q. 利用施設名		
女性・勤労婦人センター	44	5.4%
園田東会館	13	1.6%
中央南生涯学習プラザ	33	4.1%
中央北生涯学習プラザ	70	8.7%
小田南生涯学習プラザ	72	8.9%
小田北生涯学習プラザ	43	5.3%
大庄南生涯学習プラザ	23	2.8%
大庄北生涯学習プラザ	31	3.8%
武庫西生涯学習プラザ	42	5.2%
武庫東生涯学習プラザ	32	4.0%
立花南生涯学習プラザ	99	12.2%
立花北生涯学習プラザ	50	6.2%
園田西生涯学習プラザ	23	2.8%
園田東生涯学習プラザ	119	14.7%
身体障害者福祉会館	115	14.2%

設問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	233	28.8%
いいえ	557	68.9%
不明・無回答	19	2.3%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	172	21.3%
いいえ	625	77.3%
不明・無回答	12	1.5%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	193	18.9%
自転車	412	40.4%
車	185	18.2%
バイク	24	2.4%
バス	107	10.5%
電車	82	8.0%
その他	6	0.6%
不明・無回答	10	1.0%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	72	8.9%
週1~2回程度	268	33.1%
月1~2回程度	336	41.5%
年に数回程度	101	12.5%
年1回未満	8	1.0%
初めて利用する	15	1.9%
不明・無回答	9	1.1%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時~12時頃)	362	35.3%
平日午後(13時~17時頃)	342	33.4%
平日夜間(17時以降)	108	10.5%
休日午前(9時~12時頃)	72	7.0%
休日午後(13時~17時頃)	88	8.6%
休日夜間(17時以降)	36	3.5%
不明・無回答	17	1.7%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
地域の集会、行事	94	9.1%
サークル・団体活動	437	42.3%
趣味・教養・啓発講座	234	22.7%
セミナー	47	4.5%
本や映像の閲覧・貸し出し	78	7.6%
行政刊行物や資料の閲覧・入手	25	2.4%
仕事の打ち合わせなど	50	4.8%
その他	61	5.9%
不明・無回答	7	0.7%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	115	7.0%
開館時間が使いやすい時間である	98	5.9%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	152	9.2%
駐車場があり便利	135	8.2%
十分な駐輪場がある	61	3.7%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	202	12.3%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	45	2.7%
利用料が安い(無料を含む)	138	8.4%
使い慣れた施設である	146	8.9%
自宅・職場から近い	207	12.6%
公共交通機関が整っていて通いやすい	62	3.8%
周辺環境が良い	16	1.0%
実施されている事業がためになる	62	3.8%
ここでしかできない	54	3.3%
特になし	33	2.0%
不明・無回答	122	7.4%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	88	10.9%
たまにある	66	8.2%
ない	555	68.6%
不明・無回答	100	12.4%

Q.「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	9	5.8%
利用料が安い(無料を含む)	26	16.9%
自宅・職場から近い	16	10.4%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	11	7.1%
運営の安定性	6	3.9%
公共による質の担保・安心感	6	3.9%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	0	0.0%
減免が受けられる	3	1.9%
不明・無回答	77	50.0%

Q.この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	600	74.2%
どちらかと言えば必要	151	18.7%
どちらかと言えば不要	10	1.2%
不要	11	1.4%
不明・無回答	37	4.6%

Q.「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	136	18.1%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	69	9.2%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化する	100	13.3%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	338	45.0%
不明・無回答	108	14.4%

Q.この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数を減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	292	36.1%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	123	15.2%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	105	13.0%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	115	14.2%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	25	3.1%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	29	3.6%
不明・無回答	120	14.8%

<高齢者施設、障害者(児)施設>

属性

回答件数	564件
------	------

Q. 性別		
男性	134	23.8%
女性	397	70.4%
その他	23	4.1%
回答しない	1	0.2%
不明・無回答	9	1.6%

Q. 居住地区		
中央	55	9.8%
小田	93	16.5%
大庄	13	2.3%
立花	83	14.7%
武庫	22	3.9%
園田	243	43.1%
尼崎市外	13	2.3%
不明・無回答	42	7.4%

Q. 年齢		
15歳未満	2	0.4%
15歳～19歳	0	0.0%
20歳代	10	1.8%
30歳代	9	1.6%
40歳代	22	3.9%
50歳代	24	4.3%
60歳代	60	10.6%
70歳代	245	43.4%
80歳以上	184	32.6%
不明・無回答	8	1.4%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	262
子ども(未就学児)	11
子ども(小学生)	6
子ども(中学生・高校生)	14
子ども(18歳以上(高校生は除く))	89
父母	39
祖父母	2
その他	27
同居者がいない(一人暮らし)	182
不明・無回答	8

Q. 利用施設名		
老人福祉センター鶴の楽園	265	47.0%
老人福祉センター「ワークセンター和楽園」	110	19.5%
第2老人福祉工場(名神高架下)	20	3.5%
第3老人福祉工場	12	2.1%
身体障害者福祉センター	128	22.7%
身体障害者デイサービスセンター	29	5.1%

設問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	149	26.4%
いいえ	400	70.9%
不明・無回答	15	2.7%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	92	16.3%
いいえ	458	81.2%
不明・無回答	14	2.5%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	210	33.2%
自転車	222	35.1%
車	45	7.1%
バイク	4	0.6%
バス	109	17.2%
電車	16	2.5%
その他	18	2.8%
不明・無回答	9	1.4%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	250	44.3%
週1~2回程度	133	23.6%
月1~2回程度	165	29.3%
年に数回程度	3	0.5%
年1回未満	0	0.0%
初めて利用する	1	0.2%
不明・無回答	12	2.1%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時~12時頃)	311	41.2%
平日午後(13時~17時頃)	302	40.1%
平日夜間(17時以降)	10	1.3%
休日午前(9時~12時頃)	41	5.4%
休日午後(13時~17時頃)	68	9.0%
休日夜間(17時以降)	4	0.5%
不明・無回答	18	2.4%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
リハビリなどのサービスの利用	145	18.1%
興味のある行事やイベントへの参加	237	29.5%
研修等への参加	140	17.4%
作業への参加	40	5.0%
友人・知人と会うため	135	16.8%
その他	87	10.8%
不明・無回答	19	2.4%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	36	3.0%
開館時間が使いやすい時間である	108	9.0%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	41	3.4%
駐車場があり便利	16	1.3%
十分な駐輪場がある	20	1.7%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	141	11.7%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	53	4.4%
利用料が安い(無料を含む)	182	15.1%
使い慣れた施設である	77	6.4%
自宅・職場から近い	191	15.9%
公共交通機関が整っていて通しやすい	22	1.8%
周辺環境が良い	15	1.2%
実施されている事業がためになる	78	6.5%
ここでしかできない	99	8.2%
特になし	11	0.9%
不明・無回答	115	9.5%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	79	14.0%
たまにある	36	6.4%
ない	363	64.4%
不明・無回答	86	15.2%

Q.「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	3	2.6%
利用料が安い(無料を含む)	16	13.9%
自宅・職場から近い	12	10.4%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	7	6.1%
運営の安定性	3	2.6%
公共による質の担保・安心感	5	4.3%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	1	0.9%
減免が受けられる	2	1.7%
不明・無回答	66	57.4%

Q.この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	441	78.2%
どちらかと言えば必要	70	12.4%
どちらかと言えば不要	3	0.5%
不要	2	0.4%
不明・無回答	48	8.5%

Q.「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	55	10.8%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	23	4.5%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化する	90	17.6%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	231	45.2%
不明・無回答	112	21.9%

Q.この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	92	16.3%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	84	14.9%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	94	16.7%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	61	10.8%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	27	4.8%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	30	5.3%
不明・無回答	176	31.2%

<保育施設>

属性

回答件数	186件
------	------

Q. 性別		
男性	28	15.1%
女性	153	82.3%
その他	3	1.6%
回答しない	2	1.1%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 居住地区		
中央	11	5.9%
小田	11	5.9%
大庄	21	11.3%
立花	64	34.4%
武庫	17	9.1%
園田	54	29.0%
尼崎市外	7	3.8%
不明・無回答	1	0.5%

Q. 年齢		
15歳未満	0	0.0%
15歳～19歳	0	0.0%
20歳代	15	8.1%
30歳代	82	44.1%
40歳代	25	13.4%
50歳代	10	5.4%
60歳代	19	10.2%
70歳代	21	11.3%
80歳以上	14	7.5%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	150
子ども(未就学児)	108
子ども(小学生)	22
子ども(中学生・高校生)	12
子ども(18歳以上(高校生は除く))	24
父母	9
祖父母	3
その他	3
同居者がいない(一人暮らし)	20
不明・無回答	1

Q. 利用施設名		
すこやかプラザ	139	74.7%
きらきら(つどいの広場)	47	25.3%

設問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	43	23.1%
いいえ	142	76.3%
不明・無回答	1	0.5%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	29	15.6%
いいえ	157	84.4%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	65	27.2%
自転車	102	42.7%
車	30	12.6%
バイク	2	0.8%
バス	22	9.2%
電車	18	7.5%
その他	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	20	10.8%
週1～2回程度	53	28.5%
月1～2回程度	67	36.0%
年に数回程度	33	17.7%
年1回未満	5	2.7%
初めて利用する	8	4.3%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時～12時頃)	138	49.8%
平日午後(13時～17時頃)	77	27.8%
平日夜間(17時以降)	0	0.0%
休日午前(9時～12時頃)	26	9.4%
休日午後(13時～17時頃)	36	13.0%
休日夜間(17時以降)	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
子どもを遊ばせるため	126	45.5%
講座・イベントの参加	85	30.7%
子育ての相談	30	10.8%
友人・知人と会うため	28	10.1%
その他	8	2.9%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	13	2.8%
開館時間が使いやすい時間である	78	16.7%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	39	8.3%
駐車場があり便利	21	4.5%
十分な駐輪場がある	19	4.1%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	67	14.3%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	7	1.5%
利用料が安い(無料を含む)	64	13.7%
使い慣れた施設である	38	8.1%
自宅・職場から近い	55	11.8%
公共交通機関が整っていて通いやすい	16	3.4%
周辺環境が良い	4	0.9%
実施されている事業がためになる	27	5.8%
ここでしかできない	11	2.4%
特になし	1	0.2%
不明・無回答	8	1.7%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	35	18.8%
たまにある	37	19.9%
ない	109	58.6%
不明・無回答	5	2.7%

Q. 「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	3	4.2%
利用料が安い(無料を含む)	26	36.1%
自宅・職場から近い	14	19.4%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	7	9.7%
運営の安定性	0	0.0%
公共による質の担保・安心感	9	12.5%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	0	0.0%
減免が受けられる	0	0.0%
不明・無回答	13	18.1%

Q. この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	168	90.3%
どちらかと言えば必要	14	7.5%
どちらかと言えば不要	1	0.5%
不要	1	0.5%
不明・無回答	2	1.1%

Q. 「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	25	13.7%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	10	5.5%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化する	17	9.3%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	123	67.6%
不明・無回答	7	3.8%

Q. この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数を減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	71	38.2%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	41	22.0%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	18	9.7%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	20	10.8%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	15	8.1%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	12	6.5%
不明・無回答	9	4.8%

## <青少年施設>

### 属 性

回答件数	56件
------	-----

Q. 性別		
男性	20	35.7%
女性	36	64.3%
その他	0	0.0%
回答しない	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 居住地区		
中央	2	3.6%
小田	4	7.1%
大庄	0	0.0%
立花	4	7.1%
武庫	0	0.0%
園田	39	69.6%
尼崎市外	5	8.9%
不明・無回答	2	3.6%

Q. 年齢		
15歳未満	1	1.8%
15歳～19歳	9	16.1%
20歳代	6	10.7%
30歳代	6	10.7%
40歳代	17	30.4%
50歳代	6	10.7%
60歳代	8	14.3%
70歳代	2	3.6%
80歳以上	1	1.8%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	33
子ども(未就学児)	7
子ども(小学生)	18
子ども(中学生・高校生)	12
子ども(18歳以上(高校生は除く))	6
父母	10
祖父母	0
その他	1
同居者がいない(一人暮らし)	6
不明・無回答	0

Q. 利用施設名		
ユース交流センター	56	100.0%

### 設 問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	8	14.3%
いいえ	48	85.7%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	7	12.5%
いいえ	49	87.5%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	16	20.5%
自転車	43	55.1%
車	9	11.5%
バイク	1	1.3%
バス	3	3.8%
電車	6	7.7%
その他	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	9	16.1%
週1～2回程度	22	39.3%
月1～2回程度	24	42.9%
年に数回程度	1	1.8%
年1回未満	0	0.0%
初めて利用する	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時～12時頃)	27	24.1%
平日午後(13時～17時頃)	19	17.0%
平日夜間(17時以降)	15	13.4%
休日午前(9時～12時頃)	20	17.9%
休日午後(13時～17時頃)	22	19.6%
休日夜間(17時以降)	9	8.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
施設の事業、イベントへの参加	12	16.0%
研修への参加	1	1.3%
実施されるイベントに子どもが参加	4	5.3%
会議室などの貸室の利用	4	5.3%
パソコン利用、図書閲覧等	27	36.0%
相談窓口の利用	1	1.3%
友人・知人と会うため	9	12.0%
その他	17	22.7%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	5	4.1%
開館時間が使いやすい時間である	20	16.4%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	3	2.5%
駐車場があり便利	13	10.7%
十分な駐輪場がある	9	7.4%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	15	12.3%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	1	0.8%
利用料が安い(無料を含む)	9	7.4%
使い慣れた施設である	7	5.7%
自宅・職場から近い	27	22.1%
公共交通機関が整っていて通いやすい	1	0.8%
周辺環境が良い	4	3.3%
実施されている事業がためになる	1	0.8%
ここでしかできない	1	0.8%
特になし	2	1.6%
不明・無回答	4	3.3%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	2	3.6%
たまにある	8	14.3%
ない	46	82.1%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	1	10.0%
利用料が安い(無料を含む)	2	20.0%
自宅・職場から近い	3	30.0%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	2	20.0%
運営の安定性	0	0.0%
公共による質の担保・安心感	2	20.0%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	0	0.0%
減免が受けられる	0	0.0%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	39	69.6%
どちらかと言えば必要	15	26.8%
どちらかと言えば不要	1	1.8%
不要	1	1.8%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	10	18.5%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	8	14.8%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化する	4	7.4%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	28	51.9%
不明・無回答	4	7.4%

Q. この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	24	42.9%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	10	17.9%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	5	8.9%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	9	16.1%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	5	8.9%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	2	3.6%
不明・無回答	1	1.8%

## ＜公園施設＞

### 属 性

回答件数	152件
------	------

Q. 性別		
男性	62	40.8%
女性	87	57.2%
その他	0	0.0%
回答しない	2	1.3%
不明・無回答	1	0.7%

Q. 居住地区		
中央	5	3.3%
小田	11	7.2%
大庄	3	2.0%
立花	25	16.4%
武庫	18	11.8%
園田	35	23.0%
尼崎市外	53	34.9%
不明・無回答	2	1.3%

Q. 年齢		
15歳未満	1	0.7%
15歳～19歳	8	5.3%
20歳代	38	25.0%
30歳代	20	13.2%
40歳代	35	23.0%
50歳代	23	15.1%
60歳代	18	11.8%
70歳代	6	3.9%
80歳以上	2	1.3%
不明・無回答	1	0.7%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	82
子ども(未就学児)	22
子ども(小学生)	36
子ども(中学生・高校生)	21
子ども(18歳以上(高校生は除く))	16
父母	41
祖父母	3
その他	9
同居者がいない(一人暮らし)	20
不明・無回答	1

Q. 利用施設名		
尼崎城址公園(尼崎城)	5	3.3%
北雁替公園(市民プール)	26	17.1%
上坂部西公園(緑の相談所等)	59	38.8%
魚つり公園	4	2.6%
尼崎市立美方高原自然の家	58	38.2%

### 設 問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	45	29.6%
いいえ	107	70.4%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	43	28.3%
いいえ	109	71.7%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	23	12.1%
自転車	55	28.9%
車	39	20.5%
バイク	0	0.0%
バス	50	26.3%
電車	20	10.5%
その他	3	1.6%
不明・無回答	0	0.0%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	6	3.9%
週1~2回程度	10	6.6%
月1~2回程度	27	17.8%
年に数回程度	53	34.9%
年1回未満	33	21.7%
初めて利用する	23	15.1%
不明・無回答	0	0.0%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時~12時頃)	92	27.1%
平日午後(13時~17時頃)	101	29.7%
平日夜間(17時以降)	47	13.8%
休日午前(9時~12時頃)	44	12.9%
休日午後(13時~17時頃)	43	12.6%
休日夜間(17時以降)	12	3.5%
不明・無回答	1	0.3%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
レジャー	71	37.0%
施設の事業への参加	53	27.6%
周辺で行われる事業への参加	17	8.9%
その他	50	26.0%
不明・無回答	1	0.5%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	10	3.3%
開館時間が使いやすい時間である	11	3.7%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	13	4.3%
駐車場があり便利	8	2.7%
十分な駐車場がある	7	2.3%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	8	2.7%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	2	0.7%
利用料が安い(無料を含む)	32	10.6%
使い慣れた施設である	33	11.0%
自宅・職場から近い	30	10.0%
公共交通機関が整っていて通いやすい	9	3.0%
周辺環境が良い	39	13.0%
実施されている事業がためになる	39	13.0%
ここでしかできない	38	12.6%
特になし	18	6.0%
不明・無回答	4	1.3%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	12	7.9%
たまにある	19	12.5%
ない	120	78.9%
不明・無回答	1	0.7%

Q.「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	0	0.0%
利用料が安い(無料を含む)	12	38.7%
自宅・職場から近い	2	6.5%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	4	12.9%
運営の安定性	4	12.9%
公共による質の担保・安心感	6	19.4%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	0	0.0%
減免が受けられる	0	0.0%
不明・無回答	3	9.7%

Q.この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	121	79.6%
どちらかと言えば必要	27	17.8%
どちらかと言えば不要	1	0.7%
不要	2	1.3%
不明・無回答	1	0.7%

Q.「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	24	16.2%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	19	12.8%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化をする	24	16.2%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	80	54.1%
不明・無回答	1	0.7%

Q.この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数を減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	62	40.8%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	35	23.0%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	21	13.8%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	14	9.2%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	8	5.3%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	10	6.6%
不明・無回答	2	1.3%

<社会教育系施設>

属性

回答件数	224件
------	------

Q. 性別		
男性	102	45.5%
女性	111	49.6%
その他	5	2.2%
回答しない	5	2.2%
不明・無回答	1	0.4%

Q. 居住地区		
中央	25	11.2%
小田	15	6.7%
大庄	12	5.4%
立花	48	21.4%
武庫	47	21.0%
園田	28	12.5%
尼崎市外	46	20.5%
不明・無回答	3	1.3%

Q. 年齢		
15歳未満	2	0.9%
15歳～19歳	1	0.4%
20歳代	57	25.4%
30歳代	24	10.7%
40歳代	38	17.0%
50歳代	25	11.2%
60歳代	32	14.3%
70歳代	36	16.1%
80歳以上	7	3.1%
不明・無回答	2	0.9%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	119
子ども(未就学児)	19
子ども(小学生)	16
子ども(中学生・高校生)	13
子ども(18歳以上(高校生は除く))	29
父母	53
祖父母	2
その他	11
同居者がいない(一人暮らし)	42
不明・無回答	2

Q. 利用施設名		
中央図書館	43	19.2%
北図書館	74	33.0%
田能資料館	33	14.7%
歴史博物館	74	33.0%

設問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	58	25.9%
いいえ	165	73.7%
不明・無回答	1	0.4%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	51	22.8%
いいえ	172	76.8%
不明・無回答	1	0.4%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	51	18.1%
自転車	131	46.6%
車	24	8.5%
バイク	9	3.2%
バス	38	13.5%
電車	25	8.9%
その他	2	0.7%
不明・無回答	1	0.4%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	12	5.4%
週1~2回程度	43	19.2%
月1~2回程度	62	27.7%
年に数回程度	25	11.2%
年1回未満	24	10.7%
初めて利用する	57	25.4%
不明・無回答	1	0.4%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時~12時頃)	105	31.9%
平日午後(13時~17時頃)	77	23.4%
平日夜間(17時以降)	14	4.3%
休日午前(9時~12時頃)	59	17.9%
休日午後(13時~17時頃)	70	21.3%
休日夜間(17時以降)	3	0.9%
不明・無回答	1	0.3%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
本や映像の閲覧・貸し出し	104	32.9%
調べ物(資料探しや調査研究)	50	15.8%
自習	39	12.3%
講座・催しへの参加	91	28.8%
その他	31	9.8%
不明・無回答	1	0.3%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	12	2.9%
開館時間が使いやすい時間である	42	10.0%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	13	3.1%
駐車場があり便利	11	2.6%
十分な駐輪場がある	16	3.8%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	27	6.5%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	3	0.7%
利用料が安い(無料を含む)	50	12.0%
使い慣れた施設である	37	8.9%
自宅・職場から近い	69	16.5%
公共交通機関が整っていて通いやすい	17	4.1%
周辺環境が良い	13	3.1%
実施されている事業がためになる	34	8.1%
ここでしかできない	37	8.9%
特になし	25	6.0%
不明・無回答	12	2.9%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	11	4.9%
たまにある	22	9.8%
ない	184	82.1%
不明・無回答	7	3.1%

Q.「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	2	6.1%
利用料が安い(無料を含む)	10	30.3%
自宅・職場から近い	4	12.1%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	3	9.1%
運営の安定性	2	6.1%
公共による質の担保・安心感	3	9.1%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	0	0.0%
減免が受けられる	0	0.0%
不明・無回答	9	27.3%

Q.この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	186	83.0%
どちらかと言えば必要	31	13.8%
どちらかと言えば不要	2	0.9%
不要	2	0.9%
不明・無回答	3	1.3%

Q.「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	48	22.1%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	17	7.8%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化する	26	12.0%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	118	54.4%
不明・無回答	8	3.7%

Q.この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数を減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	99	44.2%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	39	17.4%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	24	10.7%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	28	12.5%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	16	7.1%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	12	5.4%
不明・無回答	6	2.7%

< 体育施設 >

属性

回答件数	372件
------	------

Q. 性別		
男性	163	43.8%
女性	200	53.8%
その他	1	0.3%
回答しない	7	1.9%
不明・無回答	1	0.3%

Q. 居住地区		
中央	33	8.9%
小田	48	12.9%
大庄	18	4.8%
立花	59	15.9%
武庫	40	10.8%
園田	76	20.4%
尼崎市外	61	16.4%
不明・無回答	37	9.9%

Q. 年齢		
15歳未満	33	8.9%
15歳～19歳	24	6.5%
20歳代	18	4.8%
30歳代	29	7.8%
40歳代	50	13.4%
50歳代	58	15.6%
60歳代	60	16.1%
70歳代	72	19.4%
80歳以上	25	6.7%
不明・無回答	3	0.8%

Q. 同居者について(当てはまるものすべて選択)	
配偶者・パートナー	230
子ども(未就学児)	23
子ども(小学生)	39
子ども(中学生・高校生)	65
子ども(18歳以上(高校生は除く))	69
父母	53
祖父母	4
その他	12
同居者がいない(一人暮らし)	49
不明・無回答	8

Q. 利用施設名		
記念公園(体育館)	135	36.3%
記念公園(陸上競技場)	59	15.9%
記念公園(野球場)	42	11.3%
中央体育館及び屋内プール	18	4.8%
小田体育館	30	8.1%
立花体育館	7	1.9%
園田体育館	5	1.3%
立花青少年体育道場	17	4.6%
園田青少年体育道場	27	7.3%
城内青少年体育道場	10	2.7%
武庫健康ふれあい体育館	22	5.9%

設問

Q. 本市が「公共施設マネジメント」の取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	61	16.4%
いいえ	310	83.3%
不明・無回答	1	0.3%

Q. 本市が公共施設の量を将来的に30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていましたか。		
はい	40	10.8%
いいえ	330	88.7%
不明・無回答	2	0.5%

Q. この施設への交通手段(複数回答可)		
徒歩(車いす等含む)	63	13.8%
自転車	218	47.6%
車	93	20.3%
バイク	24	5.2%
バス	17	3.7%
電車	38	8.3%
その他	1	0.2%
不明・無回答	4	0.9%

Q. この施設の利用頻度		
週3回以上	42	11.3%
週1~2回程度	122	32.8%
月1~2回程度	85	22.8%
年に数回程度	93	25.0%
年1回未満	15	4.0%
初めて利用する	8	2.2%
不明・無回答	7	1.9%

Q. 主にご利用する時間帯(複数回答可)		
平日午前(9時~12時頃)	136	23.8%
平日午後(13時~17時頃)	150	26.3%
平日夜間(17時以降)	47	8.2%
休日午前(9時~12時頃)	96	16.8%
休日午後(13時~17時頃)	98	17.2%
休日夜間(17時以降)	33	5.8%
不明・無回答	11	1.9%

Q. この施設を利用する目的(複数回答可)		
競技会への参加	150	30.5%
競技会の観戦	47	9.6%
トレーニング	117	23.8%
サークル活動	56	11.4%
事業(教室)への参加	68	13.8%
レクリエーション	30	6.1%
その他	18	3.7%
不明・無回答	6	1.2%

Q. この施設を選んだ理由(3つまで回答可)		
予約がとりやすい(他の施設よりも混んでない)	33	4.7%
開館時間が使いやすい時間である	50	7.1%
使う施設の部屋の大きさがちょうどよい	38	5.4%
駐車場があり便利	51	7.3%
十分な駐輪場がある	20	2.9%
冷暖房などの空調設備が充実していて快適である	62	8.9%
バリアフリーに対応していて、誰でも使いやすい	2	0.3%
利用料が安い(無料を含む)	100	14.3%
使い慣れた施設である	68	9.7%
自宅・職場から近い	88	12.6%
公共交通機関が整っていて通しやすい	20	2.9%
周辺環境が良い	13	1.9%
実施されている事業がためになる	22	3.1%
ここでしかできない	41	5.9%
特になし	43	6.1%
不明・無回答	49	7.0%

Q. 今回と同様の目的で、民間施設を利用することはありますか。		
よくある	35	9.4%
たまにある	29	7.8%
ない	263	70.7%
不明・無回答	45	12.1%

Q.「よくある」、「たまにある」を選んだ場合、民間施設より公共施設の方が優れている点はなんですか。		
予約が取りやすい(民間施設よりも混んでない)	3	4.7%
利用料が安い(無料を含む)	14	21.9%
自宅・職場から近い	14	21.9%
身近さ・手軽さ(知り合いが多く使っている、など)	1	1.6%
運営の安定性	1	1.6%
公共による質の担保・安心感	1	1.6%
その他の行政サービスも一カ所で受けられる	2	3.1%
減免が受けられる	0	0.0%
不明・無回答	28	43.8%

Q.この施設は20年後や30年後も「公共」施設として必要だと思いますか。(将来世代へ残していきたい施設ですか。)		
必要	277	74.5%
どちらかと言えば必要	62	16.7%
どちらかと言えば不要	16	4.3%
不要	6	1.6%
不明・無回答	11	3.0%

Q.「必要」、「どちらかと言えば必要」を選んだ場合、どのような形で必要だと思いますか。		
現在の規模から縮小したり他の施設と一つにする	48	14.2%
サービス水準を縮小(閉館日数の拡大や開館時間の縮減など)する	17	5.0%
税金の負担を増やさないため、施設の利用料の値上げまたは有料化する	73	21.5%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担して現在の機能・規模を維持する	165	48.7%
不明・無回答	36	10.6%

Q.この施設に関わらず、人口減少や少子高齢化の進行などの社会状況が変化したことに伴い、今後の公共施設についてどのような方法で対応するのが適切だと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。		
古くなった施設については、いくつかの施設をまとめて新しく建て直すことで、施設の数を減らしていく。(施設の数が減ると、施設の維持・管理にかかる費用も減少するので、一人あたりの税金の負担が少なくなる。)	126	33.9%
施設が完全に使えなくなるまで、古くなった施設を地震に強くしたり、使える期間を延ばす改修等を行うことでかかる費用は増えるが、新しく建てる施設の数を抑(おさ)えていく。	82	22.0%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金を上げたり、無料で利用できる施設は有料化するなど、施設を利用する人の負担を上げ、税金での負担を抑(おさ)える。	71	19.1%
施設をできるだけ長く維持するために、利用料金は上げずに、休館日を増やしたり、開館時間を短くしたりして、サービスの提供を減らす。	23	6.2%
今ある公共の施設を廃止する代わりに、民間の施設を借りてサービスの提供を続ける。	14	3.8%
利用料金を上げたりサービスを減らしたりせず、一人あたりの税金の負担を上げる。	14	3.8%
不明・無回答	42	11.3%